



羽村市立栄小学校  
学校だよりNO. 5  
令和6年9月2日

## 育てて、学ぶ

校長 棗 まゆみ

夏休みが終わり、いよいよ2学期スタートです。元気な子供たちの姿を見ることができうれしいです。子供たちから、夏休みに体験したことや、取り組んだこと、頑張ったことなど、たくさんのお話を聞きたいと思います。

さて今年の夏休みですが、7月後半は暑さ指数(WBGT)が高くなったため、夏季休業中の水泳指導は何度も中止を余儀なくされました。また、7月下旬には、栄小最後の一羽となった烏骨鶏も亡くなってしまいました。お盆の時期には、宮崎で大きな地震があり、南海トラフ地震に関連する情報が流れ特別な注意が気象庁から出されました。(現在は特別な注意の呼びかけは終了していま



すが、「日頃からの地震への備え」は引き続き実施するようにいられています。)そして8月下旬にはゲリラ雷雨が頻繁に発生しました。東京区部では、マンホールから水柱が上がったり、地下鉄の駅が浸水したり…。今年の夏は自然の猛威を強く感じました。

学校では自然のたくましさ・力強さを感じることもありました。子供たちが植えたミニトマトやピーマンは、 どんどん実が大きくなり熟していました。(草もたくさん生えていましたが…) サツマイモも畑からはみ出すくらい蔓や葉を伸ばしています。(どのくらいの芋が育っているのか…楽しみです。) 正門近くにある稲には、稲穂が実り始めました。夏野菜はもう終わりですが、秋の収穫物はこれからです。2学期、子供たちがよりよい体験ができるよう、夏休みも教職員がお世話を続けてきました。子供たちが、収穫

体験等を楽しみ、そこから学びを深められるよう、2学期も計画的に指導を進めていきたいと思っています。

学校の中には、たくさんの種類の樹木もあります。学校の木には目的があり、校舎の周りに機能的に植えられています。(南側は落葉樹→夏の日差しを防ぎ、冬は日光が当たるようになります。)子供たちが身近に触れられる樹木なので、学習教材としても活用しています。(1学期はアゲハチョウを育てるためにミカンの葉を活用しました。)よく見てみると、栄小にある樹木や植物には、実をつけているものもたくさん見られます。子供たちにとっては貴重な教材です。もし、見つけても実はそのままにしておいてください。子供たちの学びに役立てていきますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお祈いします。



子供たち自身が、2学期から「育てて、学ぶ」ことができるように、学校の環境整備も行いました。野菜など、収穫できるまで世話をするのは大変ですが、自分で育てると愛情が湧きます。そして、収穫できたときの喜びはひとしおだと思えます。ですが、うまく育たなかったり途中で枯れてしまったりすることもあるかもしれません。「自分で育てる」という経験を通して、たくさんのお話を学んでほしいと思います。

2学期は、運動会や展覧会など、大きな行事がたくさんあります。子供たちが様々な活動の中で目標をしっかりともち、しなやかな心と体で「自分のよさ」を発揮できるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力のほど、よろしく願います。

